

エコライフみしま

知っていますか？



市の鳥「カワセミ」



市の木「イチョウ」

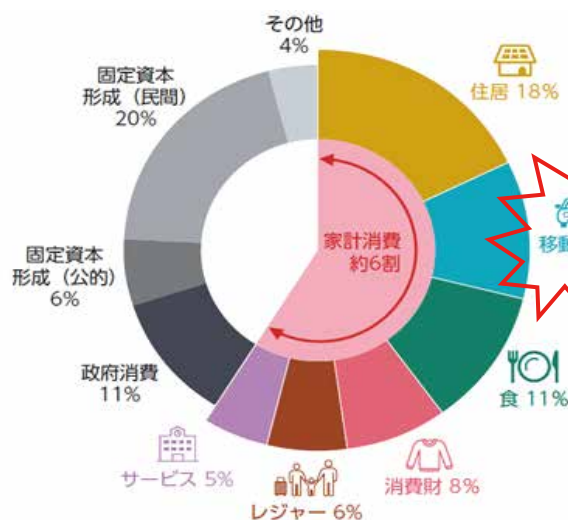


市の花「三島桜」



第42号
2023/10/15

特集 スマートムーブ ～移動と地球温暖化～



〔日本 消費ベースの
温室効果ガス排出割合〕

図：令和5年版環境白書より



『スマートムーブ』とは・・・家庭から排出されるCO₂の量を削減するため、普段利用している移動手段の見直しや工夫を行う取り組みのこと。

～スマートムーブが推進する5つの取り組み～

- ・公共交通機関の利用
- ・自動車の利用の工夫(エコカー、エコドライブ)
- ・自転車、徒歩での移動
- ・長距離移動の工夫(エコ旅行、エコ出張)
- ・移動、交通におけるCO₂削減の取り組みに参加

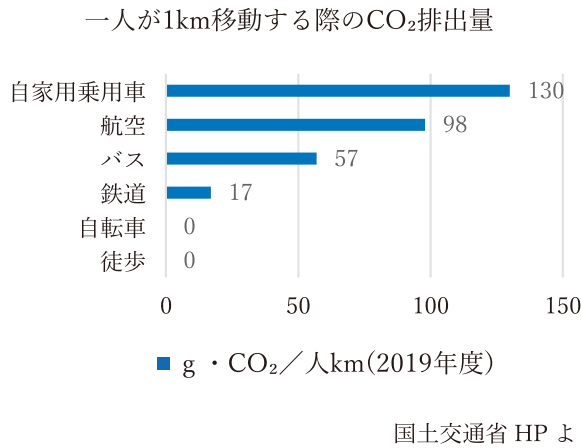
【クイズ】作家 井上靖(1907～1991)が15歳の中学生の時、三島の下宿先から静岡県沼津中学校に通ったときの移動方法は次のうちどれでしょうか。(答えはP3)

- ① バス ② 電車 ③ 自転車 ④ 徒歩

「移動」と地球温暖化との関係

今年の夏は暑かったですね。地球温暖化の影響があると思うことでしょうか。

その原因である二酸化炭素(CO₂)の排出量を消費ベースで見ますと、私たちの家計消費が約6割を占めており、その中で「移動」によるものが11%と多いのが分かります(表紙参照)。



右図は、一人が1km移動する際のCO₂排出量を移動手段別に比較したものです。自家用乗用車が一番多いことが分かります。車の運転方法を変え、車を変え、そして移動手段をバス、鉄道、自転車、徒歩に変えることでCO₂排出量の削減ができます。

エコドライブ

エコドライブとは、省エネ運転のことであり、エネルギー消費の少ない運転です。運転操作を少し変えればCO₂排出量を削減できます。できることから実践してみましょう。

不要な荷物はおろそう

100 kgの荷物を載せて走ると、**3%**程度燃費が悪化します。

ムダなアイドリングはやめよう

10分間のアイドリングで**130 cc**程度の燃料を消費します。

エアコンの使用は適切にやめよう

エアコン温度設定が外気と同じ25℃でも、**12%**程度燃費が悪化します。

減速時は早めにアクセルを離そう

早めにアクセルオフすることで、**2%**程度燃費が改善します。

車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転

車間距離が短くなると、加速・減速の機会が多くなり、市街地では**2%**程度、郊外では**6%**程度燃費が悪化します。

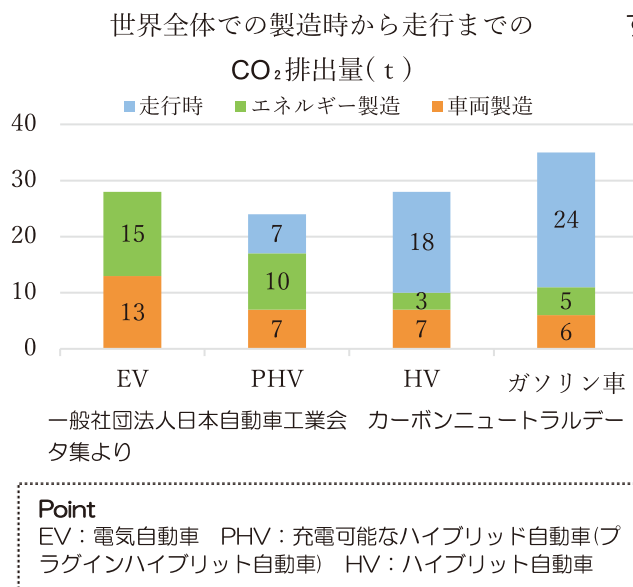
ふんわりアクセル「eスタート」

最初の5秒で時速20km程度の加速を目安にすると**10%**程度燃費が改善します。

エコドライブ普及連絡会による「エコドライブ10のすすめ」より抜粋

自動車の種類と二酸化炭素排出量

ガソリン車とHVでは走行中の二酸化炭素(CO₂)の排出という点から車両カタログの燃費値がより高いものを選ぶことが必要でしょう。ただし、車は車両製造段階でもCO₂を発生させますし、ガソリンや電気を作るのにもCO₂が発生します。その概要を表したものが左図です。



EV、PHV、HVは、ガソリン車より全体として優位にあるようです。これらのエコカーの選択はCO₂削減に大きく貢献できるでしょう。EVの場合、車両製造時のCO₂排出量が多いのは大きなバッテリー製造のためであり、エネルギー製造時でCO₂排出量が多いのは電気が化石燃料で発電されている割合が高いためです。

三島市自主運行バス(コミュニティバス)

自主運行バスは、市民の生活の移動手段を確保するため、路線バス等が通っていない地域を中心に、6つのルートで運行されています。

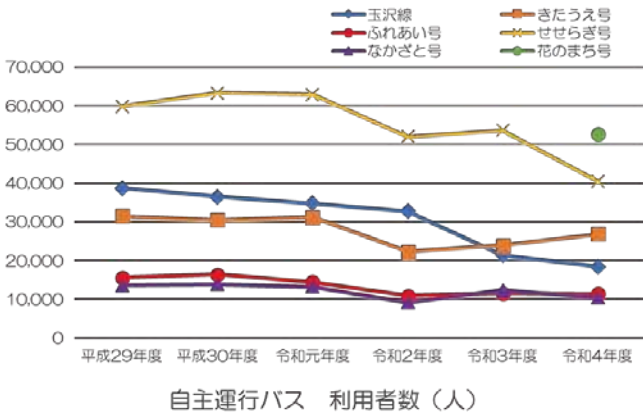
その地域に住む方々が、公共施設や医療機関、商業施設等を便利に利用できるよう、バス停オーナー制度による企業支援や住民の声を聞くなどしながら、それぞれの路線の実情に合わせて運行が工夫されています。

三島市の公共交通によるカバー率(鉄道駅・バス停各300m圏域)は全体で92%以上あり、周辺自治体の中でも高水準となっていますが、昨年実施した市民対象のアンケート調査によると、外出時の移動手段は、自動車が半数以上を占めています(三島市地域公共交通計画より)。また、自主運行バスの利用者は一部路線を除き減少傾向です。(下図参照)

クイズの答え

正解：④

著書「あすなろ物語」で、井上靖は三嶋大社前の伯母の家から静岡県立沼津中学校(現 沼津市民文化センター所在地)へ徒歩で通学していたと記されています。当時間も電車や自転車があったため、徒歩で通学する生徒はごく僅かでした。



利用料金

大人：200円 子ども：100円
 未就学児無料(大人1名につき2名まで)
 高齢者バス助成券利用可能
 障害者手帳など提示で100円
 ※玉沢線は170円～410円
 せせらぎ号、なかざと号は一日乗車券(300円)あり

時刻表の入手場所

市役所(本館1F、中央町別館2F)、北上市民プラザ、中郷市民文化プラザ、三島駅観光案内所、大場駅 近くのルートのものがおいてあります

■ 自主運行バスについての問合せ

地域協働・安全課
 電話 055・983・2701



詳細はこちら↑
 (市ホームページ)



←詳細はこちら
 (市ホームページ)

■ 健幸マイレージ・KENPOS についての問合せ

健康づくり課
 電話 055・973・3700

健幸マイレージは、健康、いきがい・きずなづくり、地域活性化など様々な分野の活動でポイントがたまり、ポイントカードがすべてたまったら景品に応募できる制度です。「通勤方法を自動車から徒歩・自転車・公共交通機関に変更」で一日1ポイント獲得(30ポイントで抽選に応募可能)できます。

「KENPOS」は日々の健康活動を記録することなどでポイントが貯まり、さまざまな景品へ交換できるアプリです。歩数が自分の目標値をクリアすれば1チケット獲得(チケット10枚でポイントが獲得できる抽選が可能です)。

健幸マイレージ・KENPOSを活用しよう

シェアサイクルとは

都市内で複数のサイクルステーションに設置してある共有の自転車を、自分のタイミングで利用できる仕組みです。レンタルは原則として1台の自転車を使いますが、シェアサイクルはサイクルスポットに停めてある自転車を自由に利用することができます。国土交通省が普及の促進をしている公共交通を補完する移動手段の一つでもあります。

「ちょっとそこまで」の移動に シェアサイクルを利用しましょう

三島市内のシェアサイクル「ハレノヒサイクル」

ハレノヒサイクルは、三島市・沼津市を中心に展開しているシェアサイクルサービスです。現在、三島市内に18か所のサイクルステーションがあります。

利用方法

事前準備としてスマートフォンに専用アプリをダウンロードし、利用者登録を行います。

- ①利用したいサイクルステーションに駐輪してある自転車を予約します。
- ②予約してある自転車に乗車します。
- ③利用後は、最寄りのサイクルステーションに自転車を返却し、施錠します。

料 金

15分ごと100円

12時間まで1,500円 ↑ 詳細はこちら
(ハレノヒサイクルHP)



● 自転車運転時のヘルメット着用について ●

令和5年4月から、自転車に乗る際にヘルメットを着用することが努力義務となりました。市では、三島市内の店舗でヘルメットを購入した方に対して、補助金を交付しています。

対 象：市内店舗でヘルメットを購入した市民
金 額：購入費の1/2(上限2,000円)
申込期間：令和6年2月29日(水)まで
※予算上限に達した場合は期限前に終了します。

【問合せ】
地域協働・安全課 電話 055・983・2701

【編集スタッフ（市民ボランティア）】9名

「エコライフみしま」は5月と10月の年2回発行しています。一緒に「エコライフみしま」をつくりませんか？

ご興味のある方は、環境政策課までご連絡ください。

皆さまの感想もお待ちしております。

【編集後記】

未来の移動手段に変化をもたらす「スマートムーブ」。今、地球環境の深刻な悪化が叫ばれる中、私たちの行動が求められています。地球温暖化といった課題に対処するため、積極的に徒歩、自転車、鉄道、バス等を活用し、個人の移動スタイルを見直しませんか？地球への負荷を軽減するため今こそ、持続可能な交通手段への移行が必要です。皆さまのご協力が、美しい地球を未来につなぐ一歩となります。どうぞ、環境への思いやりを胸に、行動に移していただければ幸いです。(E.K.)

〒411-0858 静岡県三島市中央町5-5

三島市役所中央町別館 環境政策課内「エコライフみしま」編集事務局

TEL:055-983-2647 FAX:055-976-8728 E-mail:kankyoku@city.mishima.shizuoka.jp